

2005年IEEE東京支部

総会資料

2005年3月16日

IEEE 東京支部

2005 年 IEEE 東京支部総会

総 会

日 時： 2005 年 3 月 16 日（水） 14 時 00 分～15 時 30 分

場 所： 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館 4 階 「萩の間」

議 事：

1. 開会の挨拶
2. 役員の紹介
3. 支部長挨拶
4. 2004 年活動報告
5. 2004 年会計報告
6. 2005 年活動計画報告
7. 2005 年予算案承認
8. 2005 年新 Fellow 紹介および表彰式
9. 閉会の挨拶

講 演 会

日 時： 2005 年 3 月 16 日（水） 16 時 00 分～17 時 00 分

場 所： 同 上

講演者： 末松安晴 氏（国立情報学研究所 所長）
--- 2003 年 IEEE James H. Mulligan Jr. Educational Medal 受賞者---

演 題： 「単一モード光ファイバ通信と半導体レーザ学」

懇 親 会

日 時： 2005 年 3 月 16 日（水） 17 時 15 分～19 時 00 分

場 所： 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館 4 階 「桜の間」

2005/2006年IEEE東京支部役員・理事

1. 役員

Chair	支部長	原島 文雄	(東京電機大学)
Vice Chair	副支部長	畑 良輔	(住友電気工業)
Secretary	秘書	林 秀樹	(住友電気工業)
Treasurer	Treasurer	橋本 秀紀	(東京大学)

2. 理事会メンバー

原島 文雄	(東京電機大学)	安田 靖彦	(早稲田大学)
畑 良輔	(住友電気工業)	柴田 直	(東京大学)
林 秀樹	(住友電気工業)	笹瀬 巖	(慶応大学)
橋本 秀紀	(東京大学)	笠原 博徳	(早稲田大学)
佐藤 誠	(東京工業大学)	菅原 勉	(東芝)
秋葉 重幸	(KDDI)	松島 裕一	(情報通信研究機構)
小田 哲治	(東京大学)	瀬崎 薫	(東京大学)
金子 正秀	(電気通信大学)	竹内 精一	(東京電機大学)
三木 俊雄	(NTTドコモ)	雁部 洋久	(富士通研)
河野 隆二	(横浜国立大学)		

3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Promotion	佐藤 誠 (東京工業大学)	相澤 清晴 (東京大学)	張 暁林 (東京工業大学)
Fellow Nominations	秋葉 重幸 (KDDI)	井筒 雅之 (情報通信研究機構)	枝川 登 (KDDI研究所)
Membership Development	小田 哲治 (東京大学)	山之内 宏 (ビスキャス)	横山 明彦 (東京大学)
Nominations	金子 正秀 (電気通信大学)	羽鳥 好律 (東京工業大学)	長井 隆行 (電気通信大学)
Technical Program	三木 俊雄 (NTTドコモ)	後川 彰久 (NEC)	佐和橋 衛 (NTTドコモ)
Publications	畑 良輔 (住友電気工業)	林 秀樹 (住友電気工業)	飯山 道朝 (住友電気工業)
Student Activities	河野 隆二 (横浜国立大学)	山中 直明 (慶応大学)	落合 秀樹 (横浜国立大学)

2004 年 IEEE 東京支部活動報告

1. 支部総会

2004 年 3 月 2 日(火)、午後 2 時 00 分から弘済会館、4F「萩の間」において開催された。
総会に引き続き 2004 年新 Fellow の証書伝達式および講演会が行われた。

2. 支部理事会

第 1 回 3 月 2 日 弘済会館 4F 「梅(東)」の間 出席者 15 名

- ・ 2003 年決算報告
- ・ 2004 年予算案の承認
- ・ 独自ドメイン取得について
- ・ 2005 年東京支部推薦 Fellow 候補者
- ・ ボストン支部との学生交流報告
- ・ 2004 年総会資料

第 2 回 6 月 18 日 KDDI(株) 飯田橋本社ビル 28F プレゼンテーションルーム 出席者 11 名

- ・ 2005/2006 年役員・理事候補者の選出
- ・ ボストン支部との学生交流報告
- ・ 2004 年東京支部リポート
- ・ Region 10 Meeting 参加報告
- ・ 第 1 回 Japan Council 理事会の報告
- ・ 独自ドメインの取得について
- ・ セイコーウォッチ IEEE Milestone 受賞
- ・ 2004 年度 FNC 活動計画
- ・ 信越支部設立について

第 3 回 10 月 12 日 KDDI(株) 飯田橋本社ビル 28F プレゼンテーションルーム 出席者 16 名

- ・ 2005/2006 年役員・理事候補者公告の結果および理事会構成案
- ・ 2004 年 8 月末会計報告
- ・ 信越支部設立準備資金の拠出
- ・ 2006 年フェロー候補者推薦に関する報告
- ・ ボストン支部との学生交流報告
- ・ セイコーウォッチ Milestone 贈呈式
- ・ 第 2 回 Japan Council 理事会の報告

第 4 回 12 月 3 日 早稲田大学国際会議場 共同研究室 7 出席者 27 名

- ・ 電子情報通信学会東京支部との協賛に関して
- ・ 2005/2006 年支部役員・理事・委員会メンバー

- ・ 2005/2006 年 Japan Council 東京支部代表理事案
- ・ 2004 年活動報告および 2005 年活動計画案
- ・ 2004 年決算予想および 2005 年予算案
- ・ 東京支部事務局 IT 環境整備について
- ・ 2006 年 IEEE フェロー候補者推薦に関する報告
- ・ セイコーウォッチ Milestone 贈呈式・講演会
- ・ 事務所賃貸借契約にかかわる保証金精算について
- ・ 次期理事会への引継ぎ事項
- ・ Dr. Wallace S. Read 氏との懇親会について

3. 支部主催講演会

第1回 3月2日 弘済会館 4F「萩の間」 参加者 52名
 「面発光レーザー～超並列フォトニクスの夜明け」
 伊賀 健一 氏（独立法人 日本学術振興会 理事）
 （2003年 IEEE Daniel E. Noble Award 受賞者）

第2回 9月28日 工学院大学 新宿キャンパス 参加者 67名
 「技術フロンティアの飽くなき挑戦」
 関本 忠弘 氏（(株)国際社会経済研究所 理事長）

第3回 11月26日 工学院大学 新宿キャンパス 参加者 64名

- ・ 「スミソニアン協会博物館の最近の動きと展示」
 松本 栄寿 氏（学習院大学、東京工業大学講師）
- ・ 「From Little Machines to Big Themes : Clocks, Watches and Time at the Smithsonian's National Museum of American History」（小さなマシンがもたらした大改革）
 Carlene Stephens 氏
 （スミソニアン協会・アメリカ歴史博物館・技術史部門キュレーター）
- ・ 「Inventing Ourselves : Exploring Technology and the Human Body at the Smithsonian's Lemelson Center」（私たち自身を発明する：スミソニアン・レメルソンセンターの人工義肢臓器の技術開発）
 Maggie Dennis 氏
 （スミソニアン協会・アメリカ歴史博物館・レメルソンセンターヒストリアン）

4. その他の会合

(1) 「新 Fellow を囲む懇親会」 3月2日 弘済会館 4F「欄の間」
 参加者：2004年新 Fellow、支部理事、他 計 52名

- (2) 「2004年 Region 10 Meeting」 4月16日-17日 アデレード
参加者：本部 RAB 役員、Region 10 役員、Section 代表、他 計 81 名
東京支部代表出席者：村上 Vice Chair、林理事
Japan Council 出席者：松島 Secretary、瀬崎 Treasurer
- (3) 「セイコー Milestone 授与式・懇親会・見学会」 11月25日 ホテルオークラ
参加者：Dr. Read、Dr. Seo 他 IEEE 関係者、セイコー社関係者、セイコー社来賓、
計 40 名
- (4) 「Dr. Wallace S. Read の表敬訪問および懇親会」11月26日新宿モリスビル 29 階
参加者：Dr. Read、Dr. Seo、セイコー Milestone 講演者及び関係者 計 16 名
東京支部代表出席者：安田支部長、村上副支部長、瀬崎トレジャラ、竹内理事
諏訪 Technical Program 委員会 Vice Chair
Japan Council 出席者：池田 Vice Chair、中原理事、大野理事

5. 常設委員会の活動

・ Chapter Promotion Committee

Japan Council が主催する 2 回の Chapter Operations Committee 会議の開催（6月7日および11月9日）に協力し、Chapter 運営、Chapter 支援、Chapter の新設等に関する審議に参加した。

・ Fellow Nominations Committee

2006 年 IEEE Fellow 候補者の推薦方法について、従来の紙ベースからオンラインへの移行を行う。

・ Membership Development Committee

講演会等において入会案内書を配布し、入会希望を受け付けるなど会員増に努めた。また、Senior Member への昇格を積極的に呼びかけた。

・ Technical Program Committee

上記 3. 項に示す 3 回の講演会を企画実行した。

・ Publications Committee

会員への情報サービスとして、「IEEE Tokyo Bulletin」を 6 回発行（内 1 回は 12 月 24 日発行予定）、支部のホームページに掲載し、Internet 上にて公開した。また、今後の支部ホームページの充実をはかるため、独自ドメインを取得した。

・ Student Activities Committee

(1) Inter Branch Meeting 開催 6月12日 東京工業大学

東京支部東工大学生ランチ主催のもと開催され、各学生ランチの活動状況や活動計画の報告とともに今後の活動の活発化、会員の増加などの意見交換の場が設けられた。また、同会場において懇親会が催され各ランチ間、学生会員同士の親睦を深めた。

(2) Region10 Student Congress 2004 開催 7月16日～18日 香港大学

日本からは、北海道大学、東北大学、東京大学、東京工業大学、慶応大学、大阪大学、京都大学、立命館大学、香川大学、熊本大学の Student Branch から 12 名が参加した。

(3) IEEE SBLTW2004 への参加 11月12日 香川大学

Japan Council 主催の I E E E 学生ランチリーダーシップトレーニングワークショップが香川大学で開催され、東京支部からは Student Activities Committee の小林隆夫 Chair と各学生支部の代表者が出席した。

(4) 武蔵工業大学 Student Branch の設立について

2004 年に開設の申請があり、2004 年 12 月中に設立される予定。

武蔵工業大学ご担当先：

〒158-8557

東京都世田谷区玉堤 1-28-1

武蔵工業大学 工学部 電気電子情報工学科

田口 亮

6 . ボストン支部との交流 9月27日～29日

宮永 JC SAC Chair および西原理事と共に、東京支部から選考された 3 名の学生と JC から選考された学生 3 名が参加し、ボストン支部を訪問した。ボストン支部学生のランチ訪問、活動の紹介、意見交換、大学見学 (Harvard, MIT, Boston 大学) などを通して交流を深めた。

7 . I E E E 東京支部の記念品作成

「IEEE Tokyo Section」のロゴの入った記念品を作成し、来訪者および訪問先への手土産としてお渡しし、東京支部の PR 活動に役立てた。

記念品

(1) U S B メモリスティックタイプ 128MB

(2) ポストイット

会員の状況

1. 東京支部会員数

(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1998	6,527		1	250	395	5,009	630	242
1999	6,693	2.54	0	255	410	5,097	689	242
2000	6,961	3.85	0	265	416	5,259	727	294
2001	7,200	3.43	0	275	431	5,143	983	368
2002	7,299	1.38	0	303	437	5,183	994	382
2003	7,318	0.26	2	308	429	5,595	587	397
2004	7,471	0.98	2	313	467	5,709	522	458

略号： HM: Honorary Member F: Fellow SM: Senior Member
M: Member A: Associate St: Student

2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50							
1965	694	4.20	1	10	110	333	98	142
1970	1,179	6.60	1	21	145	735	109	168
1975	1,915	11.53	0	46	173	1,400	99	197
1980	2,844	6.48	0	79	242	2,206	131	186
1985	4,249	6.33	1	144	331	3,404	197	172
1990	6,650	7.88	1	202	441	5,183	600	223
1991	7,036	5.80	2	212	486	5,514	606	216
1992	7,439	5.73	2	222	522	5,832	633	228
1993	7,926	6.55	2	247	542	6,206	660	269
1994	8,345	5.29	1	267	548	6,374	714	441
1995	8,892	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
1996	9,186	3.31	2	305	577	7,000	896	406
1997	9,454	2.92	2	335	582	7,221	918	396
1998	10,010	5.88	2	360	591	7,640	913	504
1999	10,375	3.65	1	370	619	7,862	1,004	519
2000	10,867	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2001	11,380	4.72	1	411	657	8,041	1,499	771
2002	11,699	2.80	1	447	661	8,191	1,530	869
2003	11,853	1.32	3	453	665	8,981	856	895
2004	12,253	3.37	3	466	709	9,259	773	1,043

注：Affiliate会員は含まない。

IV 2004年会計報告

単位：日本円

	予 算 (1/1～ 12/31)	決 算 (1/1～ 12/31)	対予算 (%)	備 考
収入の部				
◆IEEE 本部勘定	17,951,561	18,461,805	103	予算時は US\$1 = ¥103 を想定
・支部リベート	2,884,000	3,074,819	107	US\$28,491.65 @ ¥107.92
・Section Assessment	15,007,100	15,366,482	102	前期分：US\$142,741.56 @ ¥104.69 後期分：US\$4,026.56 @ ¥105.02
・その他	60,461	20,504	34	SM報奨金 US\$190.00 @ ¥107.92
◆雑収入	2,000	18,766	938	受取利息/電話加入権 1 件売却
◆前年度繰越金	14,629,739	14,629,739	100	
◆積立金取崩	-	-	-	
・事務局設備基金取崩	-	-	-	
・為替変動準備金取崩	-	-	-	
合 計	32,583,300	33,110,310	102	
支出の部				
◆Councilへの拠出金	15,007,100	15,329,654	102	SA (US\$142,741.56 @ ¥104.69)
◆会合費	2,200,000	1,767,852	80	
・総会費	700,000	508,613	73	総会資料印刷代/懇親会費を含む
・講演会費	250,000	86,339	35	会場費
・理事会費	250,000	474,759	190	交通費/昼食・飲み物代
・その他会合費	1,000,000	698,141	70	懇親会費
◆Committee活動費	1,000,000	559,730	56	Tokyo Bulletin発行/H P 制作費
◆Student Branch支援費	1,000,000	1,323,273	132	R10SC・SBLTW2004参加旅費/Inter Branch Mtg. 交流会費
◆事務局設備費	550,000	449,904	82	パソコン購入代/パソコンリース料
◆通信費	350,000	195,630	56	独自ドメイン取得料/Internet通信費/携帯電話等
◆支払手数料等	250,000	297,253	119	前年度監査費用、銀行手数料等
◆予備費	1,500,000	1,456,935	97	求人広告掲載費/東京支部記念品代/独自サーバ購入費
◆積立金繰入	500,000	500,000	100	
・事務局設備基金繰入	-	-	-	
・為替変動準備金繰入	500,000	500,000	100	
◆次期繰越金	10,226,200	11,230,079	110	
合 計	32,583,300	33,110,310	102	

財産目録

単位：日本円

科 目	2004年12月31日	2003年12月31日
Balance Sheet		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金	0	20,000
普通預金	11,230,079	14,609,739
定期預金	16,698,001	16,198,001
現金・預金合計	27,928,080	30,827,740
その他流動資産	0	0
流動資産合計：	27,928,080	30,827,740
2. 固定資産		
事務所賃借保証金(A)	0	0
電話加入権	145,600	218,400
機器および備品	3,853,815	3,383,625
減価償却累計額	(3,853,815)	(3,044,963)
固定資産合計：	145,600	557,062
資産合計：	28,073,680	31,384,802
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債		
	0	0
2. 固定負債		
	0	0
負債合計：	0	0
3. 正味財産		
負債および正味財産合計：	28,073,680	31,384,802
Statement of Activities		
I. 収益の部		
支部リベート	3,074,819	3,326,765
Section Assessment	15,366,482	17,042,529
その他(SM報奨金、Student Subsidy)	20,504	74,260
受取利息	2,766	2,004
雑収入(B)	16,000	601,076
収益合計：	18,480,571	21,046,634
費用の部		
会合費	2,057,171	1,293,482
Publication Expenses	270,411	447,471
Student Branch支援費	1,323,273	155,756
Japan Councilへの拠出金	15,329,654	17,040,029
事務局費および一般管理費	1,986,332	2,117,570
減価償却費	354,335	338,662
費用合計：	21,321,176	21,392,970
正味財産増減額	(2,840,605)	(346,336)
期首正味財産	31,384,802	31,731,138
期末正味財産	28,544,197	31,384,802
Statement of Cash Flows		
I. 収入の部		
支部リベート	3,074,819	3,326,765
Section Assessment	15,366,482	17,042,529
その他(SM報奨金、Student Subsidy)	20,504	74,260
受取利息	2,766	2,004
雑収入	16,000 (C)	601,076 (B)
収入合計：	18,480,571	21,046,634
支出の部		
会合費	2,057,171	1,293,482
Publication Expenses	270,411	447,471
Student Branch支援費	1,323,273	155,756
Japan Councilへの拠出金	15,329,654	17,040,029
事務局費および一般管理費	1,929,532	488,770
設備備品	470,190	0
固定資産等購入	0	0
支出合計：	21,380,231	19,425,508
現金・預金増減額	(2,899,660)	1,621,126
期首現金・預金残高	30,827,740	29,206,614
期末現金・預金残高	27,928,080	30,827,740

(A) 東京支部事務局のあるビルが競売となり、事務所賃借保証金の回収が不可能となる。

(B) Japan Councilとの「事務所賃借料の供託契約書」に基づく供託金。

(C) 電話加入権1件売却分。

【参考資料】

2004年IEEE Japan Council会計報告(案)

単位：日本円

	予 算 (1/1～12/31)	決 算 (1/1～12/31)	対予算 (%)	備 考
収入の部				
◆IEEE 本部勘定	872,560	945,209	108	予算ではUS\$1=¥104を適用
・Chapter Rebate	872,560	945,209	108	US\$8,755.00@¥108.76
◆各支部よりの拠出金	24,128,000	24,099,084	100	US\$228,820.86平均@¥105.80
・札幌支部		374,168		前期分:US\$3,490.70@¥107.19 (後期分:US\$323.73 次年度前期に請求)
・仙台支部		1,102,610		前期分:US\$10,381.42@¥106.21 (後期分:US\$256.39 次年度前期に請求)
・東京支部		14,943,613		前期分:US\$142,741.56@¥104.69 後期分:US\$4,026.56@¥105.02
・名古屋支部		1,763,487		前期分:US\$16,641.38@¥105.97 (後期分:US\$583.13次年度前期に請求)
・関西支部		3,598,000		前期分:US\$33,560.31@¥107.21 (後期分:US\$1,230.43次年度前期に請求)
・広島支部		791,865		前期分:US\$7,455.66@¥106.21 (後期分:US\$341.28次年度前期に請求)
・四国支部		332,381		前期分:US\$3,163.13@¥105.08 (後期分:US\$346.81 次年度前期に請求)
・福岡支部		770,091		前期分:US\$7,360.14@¥104.63 後期分:US\$3,019.18@¥109.20
◆雑収入	1,000	220	22	受取利息等
◆前年度繰越金	21,187,410	21,187,410	100	
合 計	46,188,970	46,231,923	100	
支出の部				
◆事務局費	15,070,000	14,644,921	97	
・給料諸給	10,400,000	10,425,215	100	交通費/労働保険/所得税を含む
・臨時雇費	-	-	-	
・事務所賃借料	2,000,000	1,716,699	86	
・事務所設備費用	500,000	560,382	112	
・通信費	500,000	398,537	80	情報配信(FAX版)の費用を含む
・交通費	250,000	219,930	88	
・事務用品費	100,000	132,465	132	
・事務機器レンタル費	1,000,000	781,581	78	コピー機・ファックス機/コピー使用料等
・支払手数料等	320,000	410,112	128	銀行手数料/前年度会計監査費用等
◆会合費	2,500,000	2,871,187	115	
・理事会・各委員会費	2,000,000	2,495,207	125	参加旅費を含む
・その他会合費	500,000	375,980	75	福岡支部との交流費用等
◆Section支援費	2,500,000	2,591,061	104	札幌、仙台、広島、四国、福岡各支部
◆Chapter支援費	7,000,000	6,298,133	90	Chapter Rebateを含む
◆Student Branch支援費	2,000,000	2,358,454	118	SAC Workshop開催費用・参加旅費等
◆予備費	2,000,000	0	-	
◆次年度繰越金	15,118,970	17,468,167	116	
合 計	46,188,970	46,231,923	100	

2005 年活動計画(案)

1. ポストン支部との交流

2002 年 10 月に調印を行ったポストン支部との姉妹支部協定をふまえて、最初の具体的な活動として 2004 年 9 月 27 日から 9 月 29 日まで東京支部および JC の学生支部から選考された学生 6 名がポストン支部を訪問し、両支部学生間の交流を実現させることができた。東京支部のみならず、広く日本の IEEE の学生活動の活性化につながるよう、今後も引き続き相互訪問による交流を深めるよう活動を推進する。

2. Japan Council 運営の支援

他支部(全国で 8 支部)との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に、積極的に協力する。東京支部の Secretary および Treasurer は Japan Council の同役職を兼務しており、それぞれの役割において Council の活動支援を推進する。

3. 信越支部設立の支援

信越支部設立に向けて、支部活動および設立準備金等の支援を行い、新支部運営の支援を行う。

4. 委員会活動

4-1. Student Branch 活動支援

2004 年は武蔵工業大学の学生ブランチの開設が申請され、東京支部(関東・甲信越地方)では、東大、東工大、慶大、横浜国大に既設されている IEEE 学生ブランチに 1 校増設され、合計 5 校になる。日本全国の学生ブランチはその他、北大、東北大、静岡大、阪大、京大、立命館大、奈良先端科学技術大、熊本大、山口大、香川大があり(全国合計 15 校)、それぞれ学生を中心として IEEE 活動が展開されている。学生ブランチ活動の促進として、Region 10 主催の学生活動への積極的な参加の呼びかけやブランチ活動への経済的支援などを通じたブランチ活動の活性化に協力するとともに、ブランチ新設への働きかけを行う。また、ポストン支部との姉妹支部協定を踏まえて、ポストン支部とのブランチ間交流を継続する。

4-2. 会員数および Senior Member 数の増強

会員数の増加率の低迷を改善するため、会員サービスおよび広報活動を強化する。組織的な働きかけ、広報活動などを通じて Senior Member 会員を増やしていく。

[参考] 2002 年 12 月末 7299 人(前年比 会員: 1.38%増、SM: 395 人--0.07%増)

2003 年 12 月末 7318 人(前年比 会員: 0.26%増、SM: 388 人--1.77%減)

2004 年 10 月末 7361 人(前年比 会員: 2.14%増、SM: 421 人--8.51%増)

4-3. 会員への情報提供

Publications Committee が発行する IEEE Tokyo Bulletin (日本語、英語) を充実させ、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。インターネットサービスの拡充を図るため、事務局独自サーバの運用を開始し、会員への情報サービスの向上を図る。

4-4. 東京支部講演会の開催

多くの会員参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画し、開催回数を増やす。

4-5. IEEE Fellow の推薦支援

推薦支援の強化をはかり Fellow 数を増やす。2006 年 IEEE Fellow 候補者の推薦方法について、従来の紙ベースからオンラインへの移行を行い、利便性の向上を図る。

VI 2005年予算案

単位：日本円

	2005年予算案 (1/1～12/31)	備考
収入の部		
◆IEEE 本部勘定	17,091,400	US \$1=¥97を使用
・支部レポート	2,754,800	US \$28,400(Gross)を想定
・Section Assessment	14,259,000	US \$147,000(Gross)を想定
・その他	77,600	Senior Member報奨金等
◆雑収入	2,000	受取利息等
収入合計	17,093,400	
支出の部		
◆Councilへの拠出金	14,259,000	Section Assessment 全額
◆会合費	2,000,000	
・総会費	700,000	資料印刷代/証書額/懇親会費を含む
・講演会費	250,000	会場費、謝礼金を含む
・理事会費	250,000	
・その他会合費	800,000	
◆Committee活動費	500,000	Tokyo Bulletin 発行費/講演会案内状等
◆Student Branch支援費	500,000	Student Paper Contest賞金/SAC Workshop
◆事務局設備費	400,000	パソコンリース料
◆ITサービス運用費	500,000	サーバー運営維持費
◆通信費	300,000	Internet通信費等 (今年度より会員への通信は電子メールに限定)
◆支払手数料等	350,000	銀行手数料、前年度監査費用等
◆予備費	1,000,000	
支出合計	19,809,000	
収 支	-2,715,600	
◆前年度繰越金	11,230,079	
◆積立金取崩	-	
・事務局設備基金取崩	-	
・為替変動準備金取崩	-	
◆積立金繰入	-	
・事務局設備基金繰入	-	
・為替変動準備金繰入	-	
次年度繰越額	8,514,479	

2005年新Fellows

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	浅谷 耕一 Asatani, Koichi	工学院大学	For contributions to optical networking and standards, communications quality of service, and network performance.
2	東京	江藤 良純 Eto, Yoshizumi	(株)日立国際電気	For contributions to digital high definition television recording and standards.
3	東京	藤田 正晴 Fujita, Masaharu	東京都立科学技術大学	For contributions to microwave remote sensing.
4	東京	福井 伸太 Fukui, Shinta	TMT&D Corporation	For contributions to secure power network operation technologies using intelligent systems.
5	東京	橋本 研也 Hashimoto, Ken-ya	千葉大学	For contributions to simulation and design for surface acoustic wave devices.
6	東京	堀 洋一 Hori, Yoichi	東京大学	For contributions to advanced motion control.
7	東京	今村 修武 Imamura, Nobutake	テラハウス	For contribution to development and commercialization of magneto-optical recording media and read/write systems.
8	東京	井上 宏明 Inoue, Hiroaki	日本オプネクスト(株)	For contributions to semiconductor optical switches and modulators.
9	東京	石橋 孝一郎 Ishibashi, Koichiro	(株)ルネサステクノロジ	For technical contributions to developments of low-power SRAMs and MCUs.
10	東京	石橋 忠夫 Ishibashi, Tadao	NTTエレクトロニクス	For contributions to high-speed and optoelectronic semiconductor devices.
11	東京	伊藤 公一 Ito, Koichi	千葉大学	For contributions to the development of antennas for mobile communications and medical applications.
12	東京	北脇 信彦 Kitawaki, Nobuhiko	筑波大学	For contributions to speech quality assessment for low bit rate encoders and associated standards.
13	東京	間瀬 憲一 Mase, Kenichi	新潟大学	For contributions to communications network traffic control.
14	東京	百瀬 寿代 Momose, Hisayo	(株)東芝	For contributions to ultra-thin gate oxide metal oxide semiconductor fields effect transistors.
15	東京	大林 秀仁 Obayashi, Hidehito	(株)日立ハイテクノロジーズ	For contributions to critical dimension scanning electron microscopy.
16	東京	大森 慎吾 Ohmori, Shingo	情報通信研究機構	For contributions to mobile satellite communication systems.
17	東京	岡崎 信次 Okazaki, Shinji	超先端電子技術開発機構	For contributions to the resolution enhancement technology in optical and electron-beam lithography.

18	東京	田中 英彦 Tanaka, Hidehiko	情報セキュリティ大学 院大学	<i>For contributions to high performance computation models.</i>
19	東京	矢野 和男 Yano, Kazuo	日立製作所 中央研究所	<i>For contributions to nanostructured-silicon devices and circuits and advanced CMOS logic.</i>

他支部所属新 Fellows

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	名古屋	水野 彰 Mizuno, Akira	分子科学研 究所	<i>For the reduction of gaseous pollutants.</i>
2	関西	浅田 稔 Asada, Minoru	大阪大学	<i>For contributions to robot learning and applications.</i>
3	関西	葛原 正明 Kuzuhara, Masaaki	NEC	<i>For contributions to Group III-V microwave power devices.</i>
4	関西	大森 裕 Ohmori, Yutaka	大阪大学	<i>For contributions to the development of organic and semiconductor light emitting materials and devices.</i>
5	関西	高橋 達郎 Takahashi, Tatsuro	京都大学	<i>For contributions to technology and systems for asynchronous transfer mode networks.</i>
6	関西	富永 昌治 Tominaga, Shoji	大阪電気通 信大学	<i>For contributions to the analysis of physical phenomena in digital color imaging.</i>

2005年 IEEE Medal/Award 日本人受賞者

- ・ IEEE Jack S. Kilby Signal Processing Medal
板倉 文忠 (名城大学)
"For pioneering contributions to narrow-band speech coding."
- ・ IEEE Components, Packaging and Manufacturing Technology Award
塚田 裕 (京セラ SLCテクノロジー)
"For pioneering contributions in micro-via technology for printed circuit boards, and for extending the feasibility of the direct flip-chip attachment process."
- ・ IEEE Frederik Philips Award
小宮 啓義 (東京精密)
"For leadership in R&D and driving international cooperation leading to the next generation of silicon wafers."
- ・ IEEE Robotics & Automation Award
稲葉 清右衛門 (ファナック)
"For long-standing leadership and technical contributions to the development of Normal Control machines, industrial robots, and flexible factory automation."
- ・ IEEE Corporate Innovation Recognitions Recipient
NTTドコモ
"For innovations in the planning, development, and deployment of i-mode an international leader in mobile Internet service."

The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. Tokyo Section Bylaws

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

Article I - Name and Territory

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto and Koh-Shinetsu districts in Japan with postal codes starting 100 through 409 and 940 through 959. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

Article II - Officers

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article III - Standing Committees

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
 - Chapter Promotion
 - Fellow Nominations
 - Membership Development
 - Nominations
 - Technical Program
 - Publications
 - Student Activities
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.

3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article IV - Management

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

Article V - Nomination and Election of Officers

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

Article VI - Business Meeting

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

Article VII - Finances

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

Article VIII - Amendments

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ($2/3$) majority vote of the Section Executive Committee.
3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

-
- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 22 May 2001. The RAB approved the revision on 04 June 2001.